

資料提供
令和7年12月26日
課名 健康危機管理課
(感染症・疾病管理センター)
担当者 片平
電話(直通) 082-513-3068
(内線) 3068

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]

(令和7年12月解析分)

1 今月のトピックス

■ 感染性胃腸炎が増加する時期に入りました！！

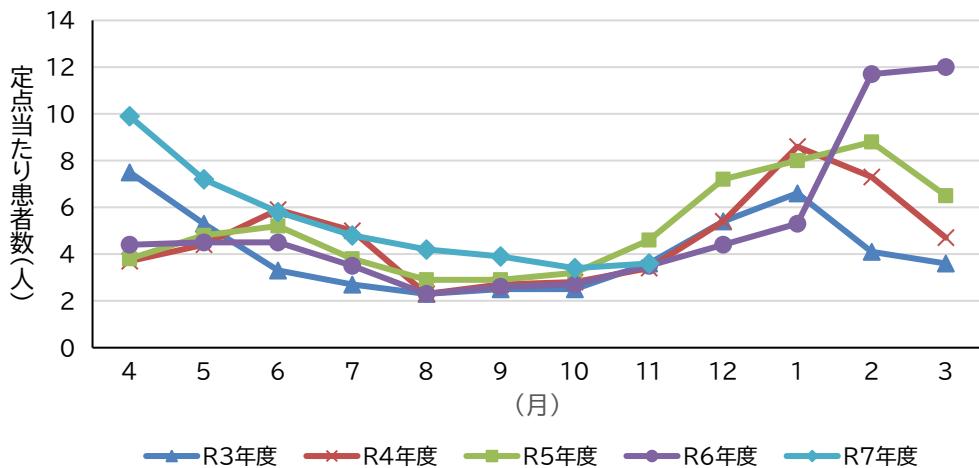
- 感染性胃腸炎は、ウイルスや細菌などを原因として、下痢や嘔吐などの症状を引き起こす感染症で、ノロウイルスやロタウイルスによるものが冬場に流行しやすく、この時期は特に注意が必要です。
- 令和3年度からの4年間は11月頃から患者数が増加しており、今年度もこれから患者数が増加する可能性があるため、注意してください。



広島県 感染性胃腸炎

検索

広島県における定点医療機関当たりの報告患者数(過去5年)



- ノロウイルスは、アルコールに対する抵抗力が強く、アルコール消毒は効きにくいとされており、予防のポイントは、トイレの後や調理・食事の前の、石けんと流水による十分な手洗いです。
- 新型コロナウイルスの感染対策により、アルコール消毒が定着したことで、石けんと流水による手洗いがおろそかになっているとの指摘もあり、改めて、感染対策の基本である「手洗いを十分に行う」を徹底しましょう。

《消毒・除菌方法一覧》

	手 指			モ ノ		
	アルコール消毒	石けんと流水による洗浄	塩素系漂白剤	アルコール消毒	石けんと流水による洗浄	塩素系漂白剤
ノロウイルス ロタウイルス	×	○	×	×	○	○
新型コロナウイルス インフルエンザウイルス	○	○	×	○	○	○



※ それぞれ所定の濃度などがあります。

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年11月分(令和7年11月3日～令和7年11月30日:4週間分)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	27,379	72.82	-	↑	11	突発性発しん	34	0.15	0.24	↑
2	インフルエンザ ※3	8,503	22.61	5.65	↑	12	ヘルパンギーナ	9	0.04	0.25	↓
3	新型コロナウイルス感染症 (covid-19) ※1	492	1.31	-	↓	13	流行性耳下腺炎	4	0.02	0.03	
4	RSウイルス感染症	251	1.10	0.21	↔	14	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
5	咽頭結膜熱	83	0.36	0.82	↑	15	流行性角結膜炎	99	1.30	0.56	↔
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	514	2.25	1.31	↑	16	細菌性齶膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	826	3.62	3.38	→	17	無菌性齶膜炎	0	0.00	0.01	
8	水痘	36	0.16	0.11	→	18	マイコプラズマ肺炎	153	1.91	0.76	↔
9	手足口病	38	0.17	0.82	↓	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	142	0.62	0.01	↔	20	感染性胃腸炎(コタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年11月分(11月1日～11月30日)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号
21	性器クラミジア感染症	58	2.64	2.95	→	25	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	80	4.00	3.52	↔
22	性器ヘルペスウイルス感染症	15	0.68	1.05	↔	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	0.11	
23	尖圭コンジローマ	19	0.86	0.76	↑	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.00	
24	淋菌感染症	22	1.00	1.21	→	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少數(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 インフルエンザ (2.10 → 22.61)
 ○急減疾患 新型コロナウイルス感染症(covid-19) (2.73 → 1.31)
 手足口病 ヘルパンギーナ (0.40 → 0.17)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↑	1:2以上の増減
増 減	↑	↓	1:1.5～2の増減
微増減	↑	↔	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内155の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	37	57	19	22	20	155

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾 患 名 (管轄保健所)
一 類	0	発生なし
二 類	24	結核(24)〔西部保健所(2)、西部東保健所(2)、東部保健所(9)、北部保健所(1)、広島市保健所(3)、呉市保健所(2)、福山市保健所(5)〕
三 類	6	腸管出血性大腸菌感染症(6)〔広島市保健所(2)、福山市保健所(4)〕
四 類	9	つつが虫病(1)〔西部保健所(1)〕 レジオネラ症(6)〔西部保健所(2)、東部保健所(1)、広島市保健所(2)、福山市保健所(1)〕 日本紅斑熱(2)〔西部東保健所(1)、東部保健所(1)〕
五 類	116	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(1)〔広島市保健所(1)〕 急性脳炎(1)〔広島市保健所(1)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)〔福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(6)〔東部保健所(1)、広島市保健所(1)、呉市保健所(1)、福山市保健所(3)〕 水痘(入院例)(1)〔広島市保健所(1)〕 梅毒(20)〔西部東保健所(1)、東部保健所(2)、北部保健所(2)、広島市保健所(10)、呉市保健所(1)、福山市保健所(4)〕 百日咳(86)〔西部保健所(10)、西部東保健所(25)、東部保健所(2)、広島市保健所(19)、呉市保健所(3)、福山市保健所(27)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)

2025年11月30日 現在

分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	27	32	25	22	29	26	29	31	24	29	24		298
	小 計	27	32	25	22	29	26	29	31	24	29	24	0	298
三類	コレラ	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	細菌性赤痢	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	腸管出血性大腸菌感染症	3	4	4	2	9	19	19	21	8	12	6		107
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	3	7	5	2	9	19	19	21	8	12	6	0	111
四類	E型肝炎	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	5
	A型肝炎	0	1	2	1	2	0	0	1	1	0	0	0	8
	エムポックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	つつが虫病	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1		3
	デング熱	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	4
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	1	0	4	1	0	0	0	0	6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	18	10	3	7	7	17	2		64
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	レジオネラ症	6	2	5	3	7	17	4	4	5	9	6		68
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小 計	8	4	9	6	28	27	11	15	15	27	9	0	159
五類全数	アーベ赤痢	0	1	2	0	0	1	0	0	1	1	0	0	6
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)	0	0	0	1	4	1	1	0	0	0	0	0	7
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	5	3	1	0	1	0	2	0	2	1		20
	急性弛緩性麻痺	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2
	急性脳炎	6	0	2	2	0	1	3	0	0	2	1		17
	クロツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	1	0	0	1	2	0	0	0	0	5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	1	4	0	4	4	1	0	3	2	1		26
	後天性免疫不全症候群	0	2	1	1	0	2	0	1	2	2	0		11
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2	1	1	1	4	0	0	0	0	0		12
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	4	6	7	6	2	4	0	0	2	6		45
	水痘(入院例)	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1	1		6
	破傷風	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0		2
	梅毒	22	17	17	20	27	18	22	25	32	19	20		239
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0		2
	百日咳	15	11	35	204	352	552	683	560	351	222	86		3,071
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	播種性クリプトコックス症	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0		3
	麻しん	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0		2
	小 計	68	45	73	239	397	586	719	591	389	254	116	0	3,477
	合 計	106	88	112	269	463	658	778	658	436	322	155	0	4,045

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類 :	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類 :	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類 :	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類 :	E型肝炎、エウストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キヤサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1)及びH7N9)を除く)、二バウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兎病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類全数:	アーベ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスルリジウム症、クロツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、パンコマイシン耐性黄色ドウガ球菌感染症、パンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシнетバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和7年11月1日～12月19日

資料作成：令和7年12月22日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
200	224	136	61	27

2 四類感染症からの検出状況

診断名	検出ウイルス・リケッチャ名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
つつが虫病疑い	つつが虫病リケッチャ Kawasaki型	1	2	血液, 痂皮	R7.11月	90代	西部
日本紅斑熱疑い	日本紅斑熱リケッチャ	1	2	血液, 痂皮	R7.11月	70代	東部(福山)

3 五類感染症 急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの検出状況(別紙)

4 五類感染症からの検出状況(急性呼吸器感染症(ARI)として提出された検体の中に含まれていた患者の検査結果の再掲を含む)

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
麻しん（成人）	麻疹ウイルス B3型 ※	1	3	血液, 咽頭, 尿	R7.12月	30代	西部(広島)
急性脳炎	ヒトヘルペスウイルス7型+ライノウイルス	1	3	咽頭, 便, 血液	R7.11月	4	東部
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	9	9	鼻咽頭, 咽頭	R7.11月～12月	0～67	西部東, 東部
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2) +パライフルエンザウイルス2型	1	1	鼻咽頭	R7.11月	0	西部東
	新型コロナウイルス(SARS-CoV-2) +AH3型インフルエンザウイルス	1	1	鼻咽頭	R7.11月	6	西部東
	ライノウイルス	2	2	咽頭	R7.11月	9, 58	東部
インフルエンザ	AH3型インフルエンザウイルス	44	44	鼻咽頭, 咽頭	R7.11月～12月	0～55	西部(広島), 西部東, 東部, 東部(福山)
	AH3型インフルエンザウイルス+ライノウイルス	2	2	鼻咽頭	R7.11月, 12月	0, 2	西部東
	AH3型インフルエンザウイルス +新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	3	3	鼻咽頭	R7.11月	5～8	西部東, 東部(福山)
	AH3型インフルエンザウイルス+RSウイルス B型	1	1	鼻咽頭	R7.11月	9	西部東
	AH3型インフルエンザウイルス +パライフルエンザウイルス2型	1	1	鼻咽頭	R7.11月	7	西部東
	AH3型インフルエンザウイルス+ライノウイルス +パライフルエンザウイルス4型	1	1	鼻咽頭	R7.11月	5	西部東
	AH3型インフルエンザウイルス+ライノウイルス+新型コロナウ イルス+パライフルエンザウイルス4型	1	1	鼻咽頭	R7.11月	4	西部東
	AH3型インフルエンザウイルス +ライノ/エンテロウイルス(鑑別予定)	1	1	鼻咽頭	R7.11月	5	西部東
	B型(ピクトリア系統)インフルエンザウイルス	4	4	咽頭	R7.11月～12月	8～40	東部
	ライノウイルス	1	1	咽頭	R7.11月	11	東部
RSウイルス感染症	RSウイルス A型	1	1	鼻咽頭	R7.11月	0	西部東
	RSウイルス B型	2	2	鼻咽頭	R7.11月	1, 2	西部東
	RSウイルス B型+アデノウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R7.11月	2	西部東
診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
突発性発疹	ヒトヘルペスウイルス7型	1	1	咽頭	R7.11月	0	東部
伝染性紅斑	ヒトパルボウイルスB19+ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7.11月	7	東部(福山)

※ベトナムに渡航歴のある患者から検出されました。

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報 (ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

◆広島県内の急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの流行状況 (ひろしまCDCホームページ内)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

6 保健所別検査依頼受付状況 (検体採取期間: 令和7年11月1日～令和7年12月19日)

保健所地区	検体数	疾患名 (検体数)
西部	2	ダニ類媒介感染症疑い(2)
西部(広島)	44	麻しん(成人)疑い(9), 急性呼吸器感染症(ARI)(35)
西部(呉)	0	
西部東	67	ダニ類媒介感染症疑い(1), 急性呼吸器感染症(ARI)(64), インフルエンザ(1), 不明熱(1)
東部	67	デング熱疑い(3), ダニ類媒介感染症疑い(4), 麻しん(成人)疑い(3), 急性脳炎・脳症(9), 急性呼吸器感染症(ARI)(36), 新型コロナウイルス感染症(7), インフルエンザ(5)
東部(福山)	41	ダニ類媒介感染症疑い(7), 急性呼吸器感染症(ARI)(32), インフルエンザ(1), 上気道炎(1)
北部	0	
福山市	0	
呉市	3	ダニ類媒介感染症疑い(3)

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスで検出されたウイルス（2025年11月上旬～12月中旬）

報告週	第44週	第45週	第46週	第47週	第48週	第49週	第50週	計
	10/27～11/2	11/3～11/9	11/10～11/16	11/17～11/23	11/24～11/30	12/1～12/7	12/8～12/14	
検査患者数	26	26	25	26	18	26	13	160
陽性患者数	19	18	21	23	14	24	8	127
AH1pdm09型インフルエンザウイルス								0
AH3型インフルエンザウイルス	6	4	12	12	9	15	3	61
B型インフルエンザウイルス(レ'クトリア系統)					1	1	1	3
新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)	4	3	3	6		1		17
RSウイルス A型	2	1						3
RSウイルス B型	1	2	2	2	3	1		11
パラインフルエンザウイルス1型		2		2		3	1	8
パラインフルエンザウイルス2型	1	2	4		1	1		9
パラインフルエンザウイルス3型								0
パラインフルエンザウイルス4型	2	2	1					5
ライノウイルス/エンテロウイルス					1	1		2
ライノウイルス	8	7	3	6	2	5	2	33
エンテロウイルスNT								0
メタニューモウイルス								0
アデノウイルスNT					1			1
アデノウイルス3型	1				1			2
ヒトコロナウイルスHKU1								0
ヒトコロナウイルスNL63								0
ヒトコロナウイルス229E								0
ヒトコロナウイルスOC43							1	1
ヒトヘルペスウイルス7型				1				1
ヒトパルボウイルスB19			1					1

※ 1人の患者から複数のウイルスが検出された症例が複数あります。